

【学校法人追手門学院の中途採用について】

追手門学院の挑戦 ～魅力ある学校であり続けるために～

2018年に創立130周年を迎えた追手門学院の教育理念は、「独立自彊・社会有為」です。「独立自彊・社会有為」とは、志をもって人間形成に励み、あわせて礼節を重んじ、他者も尊重する姿勢を表します。ひとり人間として自立し、これからの日本を背負って立つ人材を育成することが本学の使命であると考えています。この使命を果たし続けるためには、社会環境の劇的な変化に対応し、また競合他私学との競争に勝つことのできる、魅力ある学校でなければなりません。

本学はこれまでもガバナンス改革や、アサーティブ入試の開発、継続したカリキュラム改編、大学新キャンパスの建設、中・高等学校の全面移転、従来の学びのスタイルから「学修と実践を同時に経験し、それを繰り返す」学修スタイルである「WIL」の展開など、改革の取り組みを進めて参りました。その成果として朝日新聞出版発行の「大学ランキング 2020 (AERA ムック)」では、全国大学(777大学)中、総志願者の増加数全国順位19位(関西8位)、就職率(人文・社会系)全国順位1位(社会学部)、その他、他大学の学長からの評価など様々な項目において、軒並み上位にランク付けされました。しかしながら、本学はこの結果にもまだまだ満足していません。在学生にも、卒業生にも、そしてまだ見ぬこれから入学される方のためにも、どこまでも魅力ある学校を目指していきたいのです。

少子高齢化、産業構造のさらなる転換、人生100年時代と呼ばれる長寿、グローバル化の進展、地方創生による地域社会の充実、といった社会環境の劇的な変化に晒される中、本学はこれからの学院が目指すべき姿として「学校法人追手門学院『長期構想2040』」を策定しました。そこでは、①教育、②研究、③社会とのかかわり、という3つの観点から、「未来社会を支える新教育の確立と質保証の実質化」、「産業界との連携」、「地域中核拠点としての機能の確立」といった本学院の取り組み方針を定めています。また、「2040年の学校法人追手門学院像」を、「わたしたち学校法人追手門学院は、イノベーションの本質が「人」であることを念頭に、多様な価値観や異文化を持つ学院生と教職員が相互に刺激を与えながら切磋琢磨し、絶え間ないイノベーションを生み出す源泉として広く国内外に認知される存在になります。」として定義しました。

この『長期構想2040』を共に実現していただける方を求めています。それは、知的で強靱且つ向上心に溢れ、努力を惜しまず、自らの足りていない部分を常に発見できる謙虚な人材、つまり自己革新的な人材です。

現状の組織が変化を受け入れる度量が少なく、新しい試みに後ろ向きで毎日の業務に虚しさを感じておられる方、企業で活躍してきたが、これまでの経験と力

を学校業界で活かしたいと思っておられる方、未来を支える若者の大いなる成長に貢献したいと思っておられる方、どの業界からでも構いませんが、絶えず自分の能力、とりわけ創造力を新しい世界をつくるために発揮したいと考えておられる方、絶えず変化の中に身をおいて新しい挑戦に生きてみたいと思っておられる方、組織に対するロイヤリティが強く、礼節をわきまえ、毎朝誰にも明るく元気にご挨拶ができる方、均衡がとれた人間性で総合力に秀でておられる方、特定の専門分野で実績をお持ちで、その中身に自負のある方を求めています。

日本全国どこからでも構いません。この文章を読み、本学の挑戦に共感し、「我こそは追手門学院が日本一魅力ある学院となるために共に闘う」と思える方の応募を心よりお待ちしております。

以 上